

英國東洋艦隊司令官

海軍大將サー・ジエームズ・サマヴィル

Sir James Somerville

印度派遣空軍司令官

空軍大將サー・リチャード・ピアス

Sir Richard Pierce

参謀總長

陸軍大將サー・アラン・ブルック

Sir Alan Brooke

軍令部長

海軍大將サー・ダッドレー・パウンド

Sir Dudley Pound

空軍司令官

空軍大將サー・チャールズ・ポータル

Sir Charles Portal

運輸相

フレデリック・レザーズ卿

Lord Frederick James Leathers

國庫支出長官首相附統計官

チエアウエル

國防相附参謀長

陸軍中將ヘスチングス・イスメイ

(四四二七)

五五三二 米一九四一―四二年度海軍軍備年次報告 アエノスア  
イレス發同盟電に依ればノツクス米海軍長官は一九四一―四二  
年度年次報告を發表した、其の主要なるものは次の通りである

一、一九四二年度に建造を承認された新艦艇は累計五六七五千噸に上り一九四五年末迄に全部就役する、但し若干の大型軍艦は建造を中止された

一、艦艇建造船渠は同年度に百八から二百九十三に増加した

一、海軍兵力は本年六月末には約百萬に達する

一、現在海軍關係軍需工場及船渠に於る一般労働者数は四六二三八八名で内二三五三七八名は同年度に雇傭されたものである

一、同年度に於る海軍の財政負擔は二一、二一九五〇九四四五弗であつた (四八七六)

五五三三 米飛行機生産状況 口大統領は記者會見に於て、明年

度米國で生産される飛行機は金額に見積つて約五十六億弗に達し

本年度に於ては約三十六億弗が飛行機生産に充當されることな

つてゐる、現在の飛行機月産額は七千機で内五百機は爆撃機

である旨言明した (五二二八)

五五三四 米軍需工場の新設制限 米戦時生産局は新軍需工場の

建設制限並に工作機械類の生産削減を實施する旨を發表した

(五四二二)

五五三五 米戰時勞働局に賃金調整權賦與 經濟安定局長官バ

ンズは、生活水準が極めて低位にある者を普通の水準迄引上げ、又極端な不均衡を是正するため戰時勞働局に對し物價の昂騰、生産費の増加を來さない範圍内で賃金の調整を行ふ權限を賦與する、賃金の規準は依然「小鐵鋼様式」を原則的に維持する方針である旨を布告した (三六八八)

五五三六 青木大東亞相の動靜 青木大東亞相は午前村田軍最高顧問を訪問、午後三時マニラ・ホテルに於てマニラ、トリビコ、オン、ヴァンガルディア、タリバ四紙及雜誌編輯主任と會見し、獨立に向つて比島人自らの力を盛り上げるためには言論界指導者の努力に俟つ所が多い、日本の實力及政策を信頼して協力を希望する旨を述べた、午後七時同ホテルに軍官民代表並に比島要人を招待して晚餐會を催した (五五二一)

五月十三日 木曜日

五五三七 米フロリダ島沖海戰の損失發表 米海軍省當局は四月七日ガダルカナル島附近に於て米驅逐艦アイロン・ウォード

Aaron Ward 、米油槽船カンシユワ Canshwa 、ニュージールランド・  
コルヴェット・ムア Muar 號が撃沈せられた旨を発表した (五一六七)

五五三八 北阿樞軸軍戦闘停止 ドイツ總統大本營はチユニア  
南部戦線の樞軸軍は大部分の地區に於て戦闘を停止した旨發表  
した

イタリ軍司令部發表に依ればチユニアに於るイタリ軍第  
一軍はムツソリニ首相の抗戦停止命令に由つて戦闘を停止し  
た (五四九三)

五五三九 クバン地區に於る赤軍の危機 ソ聯政府情報局の發表  
に依ればクバン Kuban 地區ノヴォロシースク Novorossiisk 東北方の  
赤軍は夜獨軍と交戦中危機に陥つた (五一五六)

五五四〇 米航空母艦進水 米國政府當局は航空母艦コレヒド  
ルが太平洋岸ヘンリ・カイザール造船所に於て進水した旨發表し  
た (五四一四)

五五四一 ローズヴェルト・チャイテル會談 米大統領秘書アイ  
リーはローズヴェルト・チャイテル會談に就て、會談は略々順

調に續行され、一部分は全く餘人を交へず兩人だけで行はれたが、他は双方の軍事顧問の出席を求めて開催された、軍事代表の役割は絶えず情報の交換を行ふにある旨を發表した

(五五三一)

五五四二 駐米西大使離任 駐米スペイン大使カルデナス Juan P.

de Cardenas は米國より空路リスボンに到着した(五四九七)

五五四三 米國互惠通商法二箇年延長案 米下院は六月十二日滿期失効する互惠通商法二箇年延長案を三百四十二票對六十五票を以て可決上院に回付した

五五四四 米労働者住宅建築費追加豫算 口大統領は議會に對し

軍需工業労働者住宅建築費追加豫算四億弗の支出を求めた (五五〇六)

五五四五 英國西亞會議閉會 英國政府西亞出先當局の發表に依

れば英西亞會議は四日間に亘る討議を終へ閉會した(五五〇五)

五五四六 青木大東亞相マニラ出發 青木大東亞相は午前九時空路マニラを出發した (五五三六)

五五  
四七  
日南京發北京・下關經由午後東京驛に到着した(五一〇三)  
駐日國民政府大使蔡培氏は七

(1026)

五月十四日 金曜日

五五四八

帝國陸軍部隊モンドウ占領

大本營發表に依れば帝國

陸軍部隊は十四時インド・ビルマ國境ナーフ Naaf 河畔の敵據  
點モンドウ Maungdaw を占領し爾後の作戰準備中であり、昨年

十二月下旬アラカン方面の作戰開始以來五月十日迄に収めた綜  
合戦果は次の通りである。本作戰に於る我損害は戦死七百十四  
名、戦傷千三百六十四名、飛行機四十八

一、遺棄死体 六四一四 俘虜 五七四 (相當數の英國兵を含む)

二、撃墜飛行機 三二七 (内地上火器に依るもの一一八)

三、撃破炎上せる敵飛行機 二二五

三、鹵獲品 各種火砲 二〇七 重輕機關銃 四五九

小銃拳銃四八九七 戰車裝甲車 八三

自動貨車 二五五 其他彈藥、糧秣、被服、器材等多數

四、撃沈破船舶 三九 (内一千噸級一六) (五四七三)

五五四九 セイロン島英軍司令官更迭 セイロン島英駐屯軍司令

官大將ヘンリ・パウナルはイラク英駐屯軍司令官に轉任、中將

エドワード・ロビラード・ウエザールが後任司令官に任命せ

られた

(二五六八)

(108)

五五五〇 米四月中の戦費

米戦時生産局は、四月中の戦費が七

十二億九千万弗に達した旨発表した、右は三月中の戦費に比し一億七千八百万弗の増加で、米國が一九四〇年七月に本格的軍備擴張工作を開始して以來の戦費は九百四十九億弗である

(四九九二)

五五五一 米一九四三―四年度海軍豫算案

米下院歳出委員會は

總額二百九十四億六千三百万弗の一九四三―四年度海軍豫算案を可決、下院本會議に回付した。同豫算案の主要項目は次の通りである(單位百万弗)

兵器關係費 三、四七六

補給及陸上施設

四、二八六

艦艇建造費 一、八八七

航空關係費

一、六四〇

艦艇維持及修理費 九〇二四

(五五四四)

五五五二 米上陸用舟艇建造豫算案下院可決

米國下院は總額十七億

弗の海軍上陸用舟艇建造豫算案を可決、上院に回付した。右は上陸用舟艇約百万噸を建造せんとするもので其の七割迄は兵員竝に戦車揚陸用舟艇である

(五四三七)



五五三 米國ボリヴィア兩國大統領共同聲明 米國政府當局は、

米國及ボリヴィア兩國大統領は、錫、タンゲステン、ゴム、キ  
ニ―ネ等の生産に依り反樞軸國の戰爭遂行に多大の貢獻を爲し  
てゐるボリヴィア及米國兩國の生産する物資の交換に關し其の  
協力を一層強化する方法に就て原則的意見の一致を見更に之が  
具体的方法に就て兩國關係當局者間に於て目下交渉中なる旨の  
兩國大統領の共同聲明を發表した (五四五一)

五五四 デイヴィス特使カイロ着 口大統領特使デイヴィスは

空路カイロに到着した (五四五八)

五五五 スペルマン大司教イスタンブール着 スペルマン大司

教は午後イスタンブールに到着直にローマ法王使節館に入った (五三一六)

五五六 米大洪水 米國中部地方に於ける大洪水は益々浸水地

域を擴大するに至り十四日にはアーカンソー州リットル・ロッ

五五七 米國鐵道運賃引下 米國物價調整局長官ブラウンは全

米鐵道運賃の引下を十五日から實施する旨發表した。引下率は

農産物三%、家畜三%、その他大体六%で金額にして年三億五千万弗に上るものと見積られてゐる (五三〇一)

五五五八 北愛蘭首相訪英 北アイルランド首相バズル・ブルツク Basil Brooke はロンドンに到着、國王デヨイヂ六世に謁見、

續いて副首相アトリイ、飛行機製作相クリツプスと會見した (五四八三)

五五五九 駐日トルコ大使アンカラ着 駐日トルコ大使フェリツド・テツクはアンカラに到着した (五二五一)

五五六〇 谷大使着任 谷駐國民政府大使は午後空路南京に到着した (五五一一)

五五六一 王揖唐氏参内 前華北政務委員會委員長王揖唐氏は午前九時四十分参内 天皇陛下に謁見仰付られた (五五二三)

五五六二 青木大東亞相大阪着 青木大東亞相は午後福岡經由空路大阪に到着した (五五四六)

五月十五日 土曜日

五五六三 英潜水艦喪失 英海軍省當局は、地中海水域に作戦中

の英國潜水艦スブレンチッド號を喪失した旨を發表した

(五五〇二)

五五六四 佛領北阿政權チユニジア國王を逮捕 佛領北アフリカ

政權主席チロイ將軍は、チユニジア國王シジ・アイメッド二世

を樞軸派であるとの理由で逮捕、王位を褫奪し皇太子シジ・モ

ハメツド・エト・タヒーブが即位した旨を發表した

(五五三八)

五五六五 駐芬西公使 スペイン外務省當局はペトロ・デ・パツ

ツがフィンランド駐劄公使に任命された旨發表した

(五五四二)

五五六六 照宮様・盛厚王殿下の御婚儀 宮内省發表に依れば盛

厚王殿下と成子内親王殿下との御結婚の儀勅許あらせられた

(五五六二)

五五六七 青木大東亞相歸京 青木大東亞相は午前十時四十分大

阪から空路東京に歸着した

五月十六日 日曜日

五五六八 米國に於る食用肉の生産狀況 米國農務省は食用獸の

生産状況に就て、一九四二年に於る食用獣の生産は一九三八年  
來の最高記録を示し、牛、豚、羊の生産高は四百十三億封度と  
見積られて居り、一九四一年に比し四十八億封度即ち一三%の  
増産である旨を發表した

五五六九 デイヴィス特使テヘラン着 口大統領特使デイヴィス  
(五五五四)

五五七〇 スペルマン大司教イスタンプール發 スペルマン大司  
(五五五五)

教はイスタンプール發アンカラに向つた

五月十七日 月曜日

五五七

アツツ島戦況 谷萩大本營陸軍報道部長はアツツ島戦況に

就て次の如く發表した

一、十二日朝南海岸に上陸我陣地前に進出した敵主力に對し同日夜々襲を行ひ敵を水際近く迄撃退した  
二、十二日朝北海岸に上陸我陣地前に進出した敵は激戦中である  
三、十二日夕東海岸に上陸せんとした敵を水際に於て撃滅した  
四、敵は艦砲射撃及飛行機の銃爆撃の下に逐次後續部隊を揚陸してゐるが我守備隊は寡兵よく其の陣地を確保し、或は適時出撃を行ひ士氣旺盛である

五、現地軍よりの報告に依れば敵は本戦闘に於て十四日及十五日の二回に亘り毒瓦斯を使用した但我軍に於ては之を使用してゐない (五五二八)

五五七二

敵第二十四集團軍國民政府に合體 大本營は北支那唯一の蔣介石直系軍として河南、山西省境に及て抗戦してゐた第二十四集團軍々長上將廬炳勳は部下七萬餘 (孫殿英軍を含む)

を率ゐる蔣政權より離脱して國民政府に合體し大東亞新秩序建設  
に協力するに至つた旨を發表した (五三六六)

五五七三

英軍俘虜數 英國陸相グリツグは下院に於て英軍將兵  
俘虜數に就て、現在獨軍の俘虜となつてゐる英軍將兵は約八萬  
名、伊軍に俘虜となつてゐる者は約七萬名で右俘虜中には英本  
國兵のみならず自治領兵、インド兵等も含まれてゐるが此の數  
字は今後修正されるかも知れない旨を發表した (二八三四)

五七四

西大西洋及カリブ海に於る米船舶喪失數 米海軍省當  
局は米參戰以來本年五月十五日迄に西大西洋及カリブ海に於て  
擊沈された反樞軸國所有乃至徵用の船舶は六百五十五隻に達し

五七五

内二百六十三隻は米國船である旨を發表した (五四二〇)  
フ・デイヴィスは特使クイビシエフ着 口大統領特使ジョゼ

五七六

米鑛山労働組合會長聲明 米鑛山労働組合會長ルイス  
は、炭坑は現在政府に依り接收されてゐるから組合との交渉對  
手は炭坑經營の責任者たる政府代表イツキーズのみである、從  
て戰時労働局は炭坑爭議に干渉する權限なきに由り組合側は

戦時労働局が召集した十七日からの炭坑主側との交渉には出席を拒否する旨を聲明し、更に夜に入りてルイスは内務長官イツキーズの要求を容れ、争議再開を本月末迄延期することを承諾した旨を聲明した (五四三六)

五七七 米女子技術工養成計畫 米人的資源委員長マクナットは、政府は本年末迄に約二百萬の女子を軍需工業に動員する豫定だが内十萬は主として中等學校卒業生に十週乃至十六週間の特別講習を與へて特殊技術工とする計畫である旨を發表した (四五一一六)

五七八 加首相華府着 カナダ首相マツケンジ・キングは華府に到着した (五二八〇)

五七九 トルコ穀物強制買上令 トルコ政府は穀物の市場出廻り不足に基因する現下の食糧不足を解決するため政府機關に依る穀物強制買上令を公布した、同令に依れば農家一戸當りの割當量は次の通りである  
一、年産六吨迄の農家は其の二〇%  
一、六吨以上一五吨迄の農家は三〇%

一五 地以上五〇地迄の農家は五〇%

五五八〇 谷大使御信任状捧呈 谷駐中華民國大使は午前十一時  
國民政府大禮堂に於て汪主席に御信任状を捧呈した(五五六〇)

五月十八日 火曜日

五五八一 英ゼンブラ島占領 英近東軍司令部は、英國海軍部隊  
がチユニシアのボン岬 Cape Bon 沖十哩のゼンブラ Zembra 島を  
占領した旨を發表した (五五三八)

五五八二 英軍の北阿戦に於る損害 英副首相アトリーは下院に  
於て北アフリカ戦に於て英軍、英自治領軍及インド軍が蒙つた  
損失は死者、負傷者、行方不明及俘虜を合して二十二萬に達す  
る旨を發表した (五五一三)

五五八三 チリ―對佛洪羅勃斷交 チリ―政府當局はフランス、  
ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア四箇國と外交關係を斷絶  
した旨發表した (四四六一)

五五八四 反樞軸食糧會議開會 反樞軸食糧會議が米、英、蘇、  
重慶政權其他四十三箇國代表出席の下にホット・スプリング



ズに於て開催せられ、米國首席代表前下院農業委員長マーチン・  
ジョーンズが豫定通り議事進行委員會に於て滿場一致議長に當選  
し、次で同委員會は會議の公用語として英語を指定し、六月三日  
迄に會議を終了する旨の議案を採擇した、ロ大統領は開會に當り  
ジョーンズ議長に書翰を送り食糧會議は反樞軸聯合國の最初の會  
議で、食糧問題は凡ゆる人類の問題中最も基本的な問題である旨  
を述べた (五三四七)

五五八五 米隨時納稅法案下院否決 米國下院は上院から回付され  
た隨時納稅法案を否決した、尙下院では目下上院案とは別に民主  
黨議員ロバート・ドイトン提出の隨時納稅法案を審議中であるが

政府は隨時納稅法案には原則的に反對してゐる (五四八〇)

五五八六 米昆明領事館の昇格 米國政府當局は在昆明米國領事館  
を總領事館に昇格し桂林に領事館を新設する旨發表した

五五八七 在ダブリン帝國領事館昇格 在ダブリン帝國領事館が總  
領事館に昇格したのに伴ひ別府節彌氏が總領事に任ぜられダブリ  
ン在勤を命ぜられた (五一八一)

五五八八 在支佛租界返還 上海を除く天津、漢口、廣東のフラン

ス專管租界還付に關する細目取極及諒解事項が裕外交部長とボア  
ツソン・フランス大使館參事官との間に調印せられた、右に依り  
各フランス專管租界は來る六月五日國民政府に移管されることゝ  
なつた (五一八五)

五五八九 王揖唐氏離京 前華北政務委員會委員長王揖唐氏は午前  
九時東京驛發歸國の途に就いた (五五六一)

五五九〇 昭和十八年度交易計畫及醫藥品等需給計畫 昭和十八年度  
交易計畫及物資動員計畫の附隨計畫として昭和十八年度醫藥品等  
需給計畫が閣議に於て決定せられた (五五二五)

五五九一 興亞運動強化 興亞運動強化に關する件が閣議に於て決  
定せられた、右に依り大日本興亞同盟は發展的に解消して大政翼  
贊會興亞局を廢し新構想の下に新發足を爲すことゝなつた  
(二九八四)

戦争關係重要事項日誌 第二十一號  
昭和十八年五月十九日—二十五日

補遺

五月十八日 火曜日

五五九二 我中支方面部隊の公安西方地區に於る戦果 大  
本營發表に依れば、中支那方面の我部隊は洞庭湖畔公安  
西方地區の重慶第十集團軍五個師を包圍潰滅せしめた、  
五月十二日より十八日迄の戦果は次の通りである、我方  
の損害戦死七〇名

遺棄死體四五九五 俘虜一九四五 各種火炮二七

重輕機關銃六七 小銃九四六 (五〇一六)

五五九三 反樞軸軍ラ。ガリト島占領 佛領北アフリカ反

樞軸軍司令部發表に依れば、反樞軸軍はチユニジア海岸

沖、セラト岬 Cape Serrat の西北にあるラ・ガリト La Gar-

ite 島を占領した (五五六四)

五五九四 米互惠通商法二箇年延長案 米上院財政委員會

は互惠通商法二箇年延長案を十一票對十票を以て、大統領が戦争終了を認めてから六箇月を経過すれば議會並に大統領は本法に據り締結された通商協定を履棄し得る旨の條件を付して可決した  
(五五四三)

五月十九日 水曜日

五五九五 米機我病院船爆撃 帝國病院船あらびや丸は午前十一時三十五分ラバウル北方ニューアイランド島最北端附近の海上航行中米飛行機ボイニング一機に爆撃された(五三五二)  
五五九六 英首相の米國議會に於る演説 英首相チャーチルは米國上下兩院合同會議に於て演説し其の中に於て、勿論時節が到來すれば英國政府は手許にある一切の手段を傾けて對日戦に參加するであらう旨及彼が口大統領とが近くスタイン及蔣介石と會見出来ることを熱望する、戦局が長引く場合には複雑な事件が持ち上り民主主義各國が分裂する恐れがある旨を述べた  
(五五四一)

五五九七 デイヴィス特使モスクワ着 口大統領特使デイヴィス

はクイビシエフより空路モスクワに到着した(五五五四)

五五九八 リトヴィノフ大使テヘラン着 駐ソ米大使リトヴィノ

フはカイロから空路テヘランに到着した (五四〇七)

五五九九 米炭坑労働組合の労働同盟参加申込 米國労働同盟

盟會長グリーンは、米鑛山労働組合會長ルイスから鑛山労働組

合の總同盟加盟申込を受けた旨を發表した (五五七六)

五六〇〇 行政査察終了 第一回行政査察は十二日開始以來十四

十八の兩日を除き六日間に亘り實施せられ十九日其の全日程を

終了した (五三八一)

五月二十日 木曜日

五六〇一 北阿戦線に於るイタリ軍の戦果 イタリ軍司令部

は開戦以來本年五月十三日迄の北アフリカ戦線に於る戦果を次

の如く發表した

俘虜 六八、九〇四名

鹵獲品 装甲車及戦車 五八三三 砲 一、五二四

貨車、機關銃、小銃 數千 飛行機 五七三九

擊沈 巡洋艦 三一 補助巡洋艦 三 水雷艇 四〇

潜水艦 八八 補助艦 四 小型艦 七

貨物船一七八 計 一、三七五〇〇噸

大西洋就航船 二(計 四〇、〇〇〇噸)

油槽船 一六(計 一五〇、五〇〇噸) 快速艇 一六

ドイツ空軍との共同作戦に依る戦果

擊沈 水雷艇 三 小型艦 七 貨物船 一〇

油槽船 一

ドイツ、イタリ、空軍協方に依る戦果

擊沈 巡洋艦 一 (五五八二)

五六〇二 北阿戦に於る反樞軸軍の損害

ドイツ軍司令部は北ア

フリカ戦に於る反樞軸軍の損害を次の如く發表した

俘虜十二萬(内將官十八名) 戦死五萬(内將官七名)

負傷者二十萬 戦車喪失七七三三 (五六〇一)

五六〇三 太平洋軍事會議

口大統領は正午から一時間半に亘り太

平洋軍事會議を開催した、同會議には口大統領、テヤール

首相、ハリファックス駐米英大使、加首相マツケンヂ・キング、  
宋子文其他濠洲、ニュージールランド代表が参加した

(三三六八)

五六〇四 米特使スターリン首相會見、口大統領特使デイヴィス  
はスターリン首相と會見、口大統領の親書を傳達した

(五五九七)

五六〇五 米海軍豫算下院可決、米國下院は總額二百九十四億六  
千三百萬弗の一九四三—四四年度海軍本豫算案を可決上院に同  
付した

(五五五一)

五六〇六 米上陸用舟艇建造豫算成立、米國下院は十七億弗の上  
陸用舟艇建造豫算案を可決、白堊館に同付した(五五五二)

五六〇七 米一九四三—四四年度陸軍豫算、口大統領は總額七百

十八億九千八百四十九萬九千弗に上る一九四三—四四年度の陸  
軍豫算案を議會に送付した (五六〇六)

五六〇八 米在支治外法權撤廢、支那に於る米國の治外法權撤廢  
に關する協定が華府に於てハル國務長官と駐米重慶政權大使魏  
道明との間に調印せられた (三六一六)

五六〇九 支那移民排斥法廢止案 米下院移民歸化委員會はケネ  
デイ議員提出の支那移民排斥法廢止案の審議を開始した

(五六〇八)

五六一〇 米デトロイト自動車工場罷業 米デトロイト市の五大

自動車工場の産業別組織會議系自動車労働組合所屬従業員二萬  
二千五百名が罷業を開始した、デトロイト市の自動車工場は米  
開戦後殆ど全部飛行機工場に轉換してゐる (五五九九)

五六一一 米國炭坑労働爭議 米國炭坑労働組合地方支部中には  
組合本部の指令に依らず單獨で罷業を行ふもの續出し、ペンシ  
ルヴェニア、オハイオ、ケンタッキ諸州に於て作業を停止した  
炭坑は十四、罷業労働者は約六千に達した (五六一〇)

五六一二 駐アフガニスタン英公使更迭 チヤイルズ・フレデリ  
ック・スタウイヤーがフランシス・ワイリーの後任としてカブ  
ール駐劄英公使に任命せられた

五六一三 英投獄インド人數發表 英インド事務相アメリーは下  
院に於て本年三月十五日現在インドに於て投獄されてゐるイン  
ド人は三四八九五名、同じく拘留されてゐる者一、六二三名で



ある旨發表した、但し右數字にはインド西北部國境地帶諸州に  
 於るものは含まれてゐない (五〇五四)  
 五六一四 大東亞戰爭公債發行 大東亞戰爭公債八億圓が預金部  
 及日本銀行引受に依り發行せられた (五四一二)

五月二十一日 金曜日

五六一五 山本聯合艦隊司令長官戦死

大本營は山本聯合艦隊司

令長官が去る四日前線に於て全般作戦指導中敵と交戦飛行機上にて戦死を遂げ、古賀峯一大將が後任に親補せられ既に聯合艦隊の指揮を執つてゐる旨を發表した

山本聯合艦隊司令長官は大勳位功一級に叙せられ、元帥府に列せられ特に元帥の稱號を賜ひ、正三位に叙せられ、薨去に付特に國葬を賜はつた

古賀大將の轉出に伴ひ軍事參議官豊田副武大將が後任横須賀鎮守府司令長官に親補せられた

五六一六 濠洲軍の北阿に於る損害  
濠洲陸相フランシス・フォードは北アフリカ戦に於る濠洲軍歩兵の損害は一万八千七百二十一名に達する旨文の如く發表した

戦死 戦病死 三、一四七  
負傷 四三二五  
行方不明及俘虜 一一二四九

計

一八七二一

(四四三八)

五六一七

米海外派遣軍の配置状況

口大統領は記者會見に於て、

米國の海外派遣部隊の大部分は太平洋及東亞方面に集中されて居り、同方面に於る陸海軍の數は略同じく、又米國の空軍力及飛行機數は太平洋と歐洲戰域に大體等分されてゐる旨を述べた

(五四七九)

五六一八 伯の船舶喪失高  
ブラジル政府當局は、同國が對樞軸國宣戰布告以來、保有船舶の二割五分を喪失した旨を發表した

(三三三三)

五六一九 米の拘留外人數  
米司法長官ピツドルは、反米的行動に従事したとの嫌疑で外人四千六百六十三名を警察で拘留してゐる旨を發表した、右の日本人は二千百九十九名、ドイツ人は千七百十五名、イタリ人は二百四十二名である(四九七六)

五六二〇 米國重慶政權間軍事裁判協定  
重慶政權外交部發表に依れば、在支米國軍人の刑事々件に就ては米軍法會議又は米軍事當局の裁判を受け、重慶政權も亦米國領土に軍隊を派遣した場合は右と同様の権利を享受する趣旨の協定が重慶政權外交部代理吳國楨と駐重慶米國代理大使との間に調印せられた

(五六〇九)

五六二一 米租賃法豫算下院可決 米國下院は總額六十二億七千

三百六十二万九千弗に達する一九四三―四年度租賃法豫算を三百九票對四票を以て可決上院に回付した (五四四四)

五六二二 米加共同貿易協定調印 米國務省當局は、米國、カナダ兩國間に米洲諸國に對する共同貿易協定が調印せられた旨を發表した (五五七八)

五六二三 米不用自動車の使用禁止 米物價調整局長官ブラウンは東部十二州に於て一切の不用自動車旅行を禁止する旨布告した (四二二七)

五六二四 駐日國民政府大使信任狀捧呈 駐日國民政府大使蔡培火氏は午前一時半 天皇陛下に謁見仰付けられ信任狀竝に前任大使の解任狀を捧呈した (五五四七)

五月二十二日 土曜日

五六二五 アツツ島方面戰況 アツツ島方面戰況に關し谷萩大本營陸軍報道部長は左の如く發表した  
一、南岸の上陸部隊が敵の主力であるものの如く日を逐うて其の

兵力は増強せられ五月十六日以後は戦車及重材料等の揚陸を行つてゐる

ニ、北岸に上陸した部隊も逐日兵力を増強しつつ南方に進出中であつて南岸上陸部隊との連絡を企圖してゐる模様である

三、東岸に於ては敵影を見ない

四、敵兵力は有力な艦隊及航空部隊の護衛を受けてゐる戦車及重砲を有する約一個師團である

五、我が守備部隊は五月十六日夜其の前哨部隊を撤收し同島東部地区の既設陣地に據り敵と交戦中である (五五七一)

五六二六 帝國陸軍航空部隊のチツタゴン飛行場に於る戦果  
大本營發表に依れば帝國陸軍航空部隊はチツタゴン飛行場を襲撃し左の如き戦果を得た、我方の損害一機

空中戦に因る撃墜 一九 地上撃墜及撃破 一五

(五四七四)

五六二七 敵機我病院船空襲 帝國病院船はいかる丸は午前十時三十分頃ランダインの河口附近を航行中敵機七機の空襲を受け

(五五九五)

五六二八 米航空母艦進水 米海軍省は東部海岸の造船所に於て

航空母艦ラングレーが進水した旨発表した (五五四〇)

五六二九 國際共產黨組織の解散 在モスクワ國際共產黨執行委員會幹部會は、一九一九年國際共產黨組織が創設されて以來國際狀勢は激變し特に今次大戦に因り齎された事態に鑑み右労働階級前衛の國際組織は最早國際情勢に照應し得なくなり、國際共產黨組織の解散が必要となつた旨の聲明書を發表した (五六〇四)

五六三〇 米四月中の造船高 米海軍委員長ランドは四月中の米造船高は百五十七隻に達し凡ゆる記録を破つた旨を發表した (五一三八)

五六三一 米グッドリッチ・タイヤイ會社爭議 米國オハイオ州アクロン Akron のグッドリッチ・タイヤイ會社 Goodrich Tire Company の産業別組織會議系護謨労働組合員約千名が罷業を開始した (五六一一)

五六三二 駐羅及駐洪公使更迭 森喬氏が特命全權公使に任せられハンガリー國駐節を仰付られ、特命全權公使柳井恒夫氏がルーマニア國駐節を仰付られた

五月二十三日 日曜日

(1051)

五六三三 十八春太行作戰終了 山西現地軍は六旬に亘る十八春

太行作戰を終了した、作戰開始以來の主要綜合戦果は左記の通りである旨發表した

遺棄死体 八〇七七 俘虜一、九二八

鹵獲品 山砲 六 迫撃砲 一六 重機關銃 四七

輕機關銃 三三七 擲彈筒 九三 小銃 五五七〇

拳銃 三三五 (五五七二)

五六三四 米國バスの運行制限 米國々防運輸局は米東部沿岸諸

州に於る乗合自動車並に貨物自動車の運行哩數を四〇%方制限する旨を布告し、同時に農産物運搬用貨物自動車にはガソリンを増配する旨發表した、右はミシシッピ一河及其の支流の氾濫(五五五六)に因り東部地方へのガソリン移入が困難となつた爲めである (五六二三)

五六三五 スペルマン大司教テヘラン着 ニューヨーク大司教ス

ペルマンはテヘランに到着した (五五七〇)

五月二十四日 月曜日

(1052)

五六三六 アツツ島附近に於る帝國海軍航空部隊及潜水部隊の戦果  
 大本營は、帝國海軍航空部隊が五月二十三日アツツ島附近に  
 於て敵巡洋艦一隻を撃破、驅逐艦一隻を撃沈し他の一隻に火災  
 を生ぜしめたが我方には損害がなかつた旨及帝國海軍潜水部隊  
 が五月十二日以後アリユーション方面に行動中の敵艦艇を攻撃  
 し敵戦闘艦及巡洋艦各一隻を大破し艦型未詳の敵艦二隻を中破  
 せしめた旨を發表した (五六二五)

五六三七 宜昌航路啓開作戦 中支艦隊報道部發表に依れば帝國  
 海軍部隊は四月十五日以降陸軍部隊と協力宜昌航路啓開作戦を  
 續行し五月二十四日迄に岳州沙市間百七十七哩の水路を啓開確  
 保せる外左の戦果を収めた、我方損害沈没小型舟艇一隻戦死三  
 名戦傷九名

鹵獲品	機械水雷	處分數	一八六	地雷	處分數	二七
小銃	機械水雷	一四六	機關銃	一三		
九七五	各種彈藥	一三五				

(五〇一六)



五六三八 北支軍四月中の綜合戦果 北支軍は四月中の綜合戦果

を左の如く發表した

交戦回数 一、五九八 (蔣系軍五四九、共產軍 一、〇四九)

交戦敵兵力 二七、四九五 (延敷) 覆滅施設 八四八

敵遺棄死体 一五、二五二 俘 虜 一、九七三七

主要鹵獲品 山砲 四 迫撃砲 五二 重輕機關銃 三六〇

小銃一、二、五八七 拳銃 一、二八九 (五六三三)

自動小銃 六九 (五六三三)

五六三九 米護謨労働罷業 米國オハイオ州アクロンのグッドイ

ア・タイヤー會社 Goodyear Fire Company 従業員六千名が罷業に參

加した結果アクロンに於る罷業護謨労働者總數は四万九千名に

達し、グッドイア・タイヤー會社、グッドリツ子護謨會社、

Goodrich Rubber Company ファイヤーストーン、タイヤー會社 Fire-

stone Fire Company は操業を停止した (五六三一)

五六四〇 英北阿常駐相歸英 英國北アフリカ常駐相ハロルド・マ

クミランはアルジエールからロンドンに到着した

(四二一四)

五六四一 國民勤勞に關する六勅令案要綱決定 首相官邸に於て  
開催された第二十五回總動員審議會に於て國民徵用令、國民勤  
勞報國協力令、勞務調整令、賃金統制令、船員職業能力申告令  
の改正及工場従業時間制限令の廢止に關する六勅令案要綱が決  
定せられた (五五九〇)

五月二十五日 火曜日

五六四二 敵機宜昌に來襲 米四發大型爆撃機二機が宜昌方面の  
我陣地に來襲したが内一機は地上砲火に因り紫金嶺北方三藏寺  
附近に墜落され搭乗の米人六名は即死した (五四七五)  
五六四三 ジャワ派遣軍最高指揮官 ジャワ派遣軍はジャワ派遣  
軍最高指揮官は原田熊吉中將である旨を發表した (二四五三)

五六四四 米國民衆の次期民主黨大統領候補に關する輿論 リス  
ボン二十五日發同盟電に依ればギヤラツプ輿論調査所が最近民  
主黨投票人代表に次期大統領選挙に於る民主黨候補七名の名簿  
を告示し投票を行つた所次の如き結果を得た

口大統領領七九% 副大統領領ウオーレス八%

民主黨領袖フアーレイ五% 人的資源委員長マクナット四%

大審院判事ウイリアム・ダグラス二% 物價安定局長官バーンズ 一%

駐英米大使ワイナント一% (五四八二)

五六四五 米國中部地方に於る水害 米國セント・ルイス赤十字

社は中部地方に於る水害に就て、洪水はイリノイ・ミズリー、  
アーカンソー、オクラホマ及カンサスの五州に亘り耕地二百七  
十五万エーカーを水浸しにし損害は數百万弗に上り、家屋を喪  
失した住民は約十五万四千二百四十八名である旨を發表した

(五五五六)

五六四六 英國第二次軍事豫算 英國下院は一九四三會計年度に

於る十億磅の第二次軍事豫算案を可決した、フィナンシアル・  
ニューズ誌に依れば右軍事追加豫算案は約三箇月間の經費を支  
辨するもので今會計年度第二回のもので、今年度に於て議會の  
承認を要する豫算總額は四十九億磅に達し、其の主なる項目は  
次の通りである(單位千磅)

軍、供給省及飛行機製作省 三九七五〇〇〇

農務省 五三、四〇〇  
食糧省 一六一五三

經濟戰爭省 九〇四  
燃料省 一四六〇〇

五六四七 佛外四箇國鼓浪嶼共同租界行政權還附 フランス、ス

ペイン、スエーデン、デンマーク四箇國は來る二十八日鼓浪嶼

共同租界行政權を國民政府へ移管することとなつた旨同政府外

交部並に宣傳部から發表せられた (五五八八)

五六四八 昭和十八年外地産米價格引上 昭和十八年外地産米價格

對策要綱が閣議に於て決定せられ、政府買入價格は現行石壹り

四十四圓を十二圓引上げ五十六圓に消費販賣價格は内地同値三

價格制に依り三圓を引上げ四十六圓とすることとなつた、但し

引上價格十二圓の内三圓は消費價格引上に依り、補給金九圓は

七圓を直接生産者に支給し二圓は食糧増産に必要な施設に充

當せられる (五二九八)

五六四九 證券取引所に於る賣買取引方法の改正 有價證券取引

委員會總會に於て會長賀屋藏相の諮問第一號(日本證券取引所

の開設する有價證券市場に於る賣買取引の方法に關する件)に

對する答申が決定即日大藏省から發表せられた(四八一八)

戦争關係重要事項日誌 第二十二號  
昭和十八年五月二十六日—三十一日

(1057)

總誌

補遺

五月二十三日 日曜日

五六五〇 米補助艦喪失發表 米海軍省發表に依れば米小型補助艦ナイヤガラ號がサンクリストバル島サーヴィル岬東方水域に於て日本空軍の攻撃を受け甚大な損害を蒙つたので同行せる艦艇に其の乗組員を收容した後自沈した (五五三七)

× × × × × × ×

五月二十六日 水曜日

五六五一 帝國海軍部隊の最近に於ける戦果 大本營は帝國海軍部隊の最近に於ける戦果を次の如く發表した  
一、五月五日より同二十四日迄に撃沈せる敵船舶  
潜水艦に依るもの 油槽船二隻(三萬噸)

戦艦	戦			果			我方 損害
	米	英	蘭	米	英	蘭	
カリフォルニア ヒューストン オズワルド オズワルド オズワルド オズワルド	カリフォルニア ヒューストン オズワルド オズワルド オズワルド オズワルド	カリフォルニア ヒューストン オズワルド オズワルド オズワルド オズワルド	カリフォルニア ヒューストン オズワルド オズワルド オズワルド オズワルド	カリフォルニア ヒューストン オズワルド オズワルド オズワルド オズワルド	カリフォルニア ヒューストン オズワルド オズワルド オズワルド オズワルド	カリフォルニア ヒューストン オズワルド オズワルド オズワルド オズワルド	一 一
新式中型 大型空母	新式中型 大型空母	新式中型 大型空母	新式中型 大型空母	新式中型 大型空母	新式中型 大型空母	新式中型 大型空母	三 二
オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ	オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ	オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ	オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ	オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ	オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ	オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ オカサタ	三 三
四〇	二二	二二	二二	二二	二二	二二	一九 二二

開戦以来本年五月二十七日迄の

大本營発表に依る帝國海軍綜合戦果並に我方の損害



五六六〇 米國フォード自動車會社々長死去

米國フォード自(

車會社々長エツセル・フォード Edsel Ford が死去した、氏はへ  
ンリー・フォードの長男である (五一九三)

五六六一 駐葡英國大使更迭 英政府當局はサー・ロナルド・ヒュー・  
ホブキンソン Sir Henry L. Hopkinson がサー・ロナルド・ヒュー・